

お茶大での交換留学

台湾 東海大学

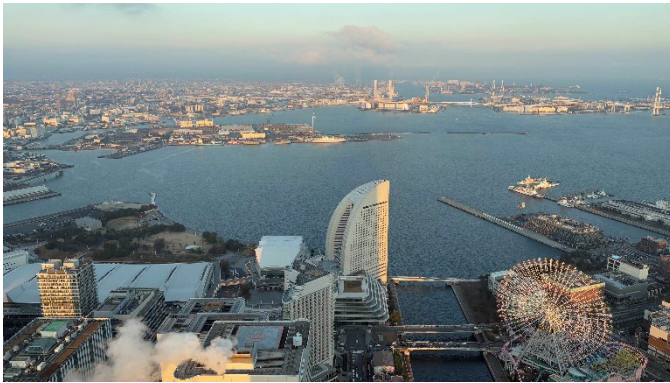
劉采怡（リュウ・サイ・イ）

学籍番号 k2490054

自分がフォローしている歌手が SNS で「日本語能力試験をクリアしたのは、初心者の村を出たばかりだ」と言っていたのを覚えています。日本に来て生活する中で、その言葉が本当だと実感しました。日常や授業での挑戦を通じて、自分の日本語能力にまだ成長の余地があると感じています。

たくさんの授業を受けましたが、どの授業もとても勉強になりました。その中で特に印象に残っているのは、西川先生の「日本事情演習 IIB」という授業です。この授業が心に残っている理由は、東京の歴史について深く学べたことに加えて、お茶の水女子大学附属小学校で行われた交流会に参加できたからです。このような機会はなかなか得られない貴重な体験だったと思います。

初めて小学校を訪問し、日本人の小学生と交流することに、最初はとても緊張しました。しかし、徐々に緊張が解け、最後には楽しく交流を終えることができました。小学生たちとの会話や活動を通じて、日本の教育現場を直接感じられたことは、私にとってとても新鮮で、かけがえのない思い出になりました。



留学中、私はさまざまな場所を訪れました。あるゲームにハマったことをきっかけに海や船が好きになり、聖地巡礼として横須賀を訪れました。また、横浜ではそのゲームが開催した新春ライブにも参加しました。以前ゲームを遊ん

でいるときにしか聞こえなかった曲（BGM）が、舞台上の歌手の歌声とともに響き渡り、オーディエンスが一斉に声を上げてコーラスした瞬間は、心臓が激しく鼓動し、感動で胸がいっぱいになりました。さらに、千葉県の鴨川シーワールドを訪れ、大好きな動物であるシャチを間近で見ることができました。シャチが大きなプールを泳ぎ回ったり、ジャンプをしたり、トレーナーと一緒にパフォーマンスをする姿は最高でした。水しぶきが飛んできたとき、まるで自分もその瞬間の一部になったような気持ちになり、とても幸せな時間を過ごしました。

最後に、指導教官やお世話になった方々に心よりお礼を申し上げます。

まず、指導教官の遠藤先生には深く感謝しております。遠足や授業の聴解に誘っていただき、お忙しい中で毎月振り返りシートをご覧くださり、丁寧なアドバイスをいただきました。いつも温かいご指導、本当にありがとうございました。次に、国際センターの大野さん、岩崎さん、萩原先生にも感謝申し上げます。お茶大での手続きや問題の解決にあたり、迅速かつ丁寧にご対応いただき、大変助けられました。また、音羽館の管理人の皆様にも感謝しています。寮を出る際に、いつも明るい声で「いってらっしゃい」と声をかけてくださり、実家を出るような温かい気持ちに包まれました。そして、チューターのびび先輩（チュウさん）にもお礼を伝えたいです。生活で困った際には熱心に教えていただき、悩んでいるときには励ましてくださいました。本当にありがとうございました。



授業で学んだことや留学生活を通じて訪れた場所、出会った体験は、どれも新鮮で忘れられないものばかりです。これらの思い出は私にとって宝物となり、これからの人生でも私を支える力になると感じています。